

博士前期課程（修士） / 実践看護学領域 / 女性看護学分野

科目コード：260005

## 女性看護学演習Ⅱ Seminar in Women's Health Nursing Ⅱ

担当教員	吉田 和枝 山岸 映子 米田 昌代				
実務経験					
開講年次	1年次後期	単位数	2	授業形態	演習
必修・選択	選択	時間数	45		
Keywords	周産期、育児、思春期、青年期、デートバイオレンス、更年期、老年期、ヘルスプロモーション、国際協力、保健指導、健康教育、健康教室、プログラム、評価				
学習目的・目標	実際の健康教室の運営や自助グループの会への参加、助産施設見学等を通じて、女性たちの様々な健康側面について実際に触れ、そのニーズを捉え、より適切な健康教育や看護援助を具体的に計画、考察する力、評価力を養う。				
授業計画・内容					
回	内容			授業方法	担当
1～3	周産期、育児における家族の支援を考える 孫を持つ祖父母教室を通じて演習を行う			講義・演習	吉田
4～6	思春期、青年期における性教育を考える 実際の高校生への集団性教育を通じて演習を行う			講義・演習	吉田 山岸
7-9	デートバイオレンス：尊重し合った男女の交際を考える 実際の教室開催の演習を通して男女間暴力の予防について考える			講義・演習	吉田
10-12	児を亡くした母親とその家族への援助を考える 自助グループの意義と看護の役割 実際開催される会、教室での演習を行う			講義・演習	吉田 米田
13	乳がん予防－自己診断の方法と実践 その健康教育意義と方法			講義・演習	吉田
14-16	更年期・老年期へのヘルスプロモーション 地域女性会等対象の教室での演習を通じて学ぶ			講義・演習	吉田
17-18	産む女性の主体性を重視した援助を学ぶ 助産院での出産援助の援助の実際から学ぶ			講義・演習	吉田 山岸
19-23	国際的な母子保健活動と国際間の協力－実際の国際協力（JICA母子保健国別研修）を通じて学ぶ			講義・演習	吉田 山岸
教科書	随時提示する				
参考図書等	日本健康教育学会編；健康教育ヘルスプロモーションの展開、保健同人社、2008 ほか、適宜紹介します。				
評価指標	各演習参加状況により総合的に評価する。				
関連科目	女性看護学特論Ⅰ,Ⅱ,Ⅲ				
教員から学生へのメッセージ	保健指導や保健相談等の意義、方法の知識や情報を得て、実際の教室開催等に参加し、リプロダクティブヘルスへの効果的な支援策を考えましょう。				